



オスカー・ムリーリョ「Anterior Chambers」

会期: 2025 年 3 月 21 日 (金) – 4 月 26 日 (土)

会場: タカ・イシイギャラリー 京都

パフォーマンス: 3 月 20 日 (木) 23:45

オープニング・レセプション: 3 月 21 日 (金) 11:00 – 13:00

私はいま故郷に戻ってきたー

学び、親密さ、友情…そして共有の新たな経験。

集合的な闇、時間、歴史。経験されたこと。和解のための組織、信号装置、復活…再生。

《前房》。

眼球構造のうち角膜と虹彩の間にあるもの。房水と呼ばれる液体。前房は加齢や外傷によって狭まったり塞がったりする。そうして、視力が失われていく。

このイメージは、長年にわたるムリーリョの活動の多くに関連しています。例えば、2024 年夏にテート・モダンで発表された大規模な参加型インスタレーション《*The Flooded Garden* (浸水した庭)》と同時期に制作された作品群は、洪水、流れ、水のモチーフを探求しています。視力の喪失という概念もまた、ムリーリョが継続して探求してきたものであり、「社会的白内障」というタイトルを用いた作品も制作しています。

オスカー・ムリーリョは、1986 年コロンビアのラ・バイラ生まれ。現在同地を拠点に活動。2007 年英国ウェストミンスター大学で美術の名誉学士号を取得、2012 年にロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アートの修士課程修了。2019 年、ターナー賞を他 3 名のアーティストと同時受賞。近年の主な個展に、テート・モダン (ロンドン、2024 年)、WIELS (ブリュッセル、2024 年)、セラルヴェス現代美術館 (ポルト、2024 年)、The Javett Art Centre at the University of Pretoria (プレトリア、2023 年)、森美術館 (東京、2021 年)、アスペン美術館 (2020 年)、クンストフェライン・ハンブルク (2019-20 年)、ケンブリッジ大学ケトルズヤード (2019 年)、K11 アート・ミュージアム (上海、2019 年)、ハウス・デア・クンスト (ミュンヘン、2017-18 年)、ヤラト現代美術センター (バクー、2016-17 年) など。「JAZZ」クンストハレ・ヴィーン (2024 年)、「To Begin Again」ICA ボストン (2024 年)、「Sonsbeek 20-24: Force Times Distance」(アーネム、2021 年)、「The Space Between Classrooms」スイス・インスティテュート (ニューヨーク、2021 年)、「Ruth Ewan & Oscar Murillo」ヨークシャー彫刻公園 (2019 年)、「Collision / Coalition」ザ・シェッド (ニューヨーク、2019 年)、「We don't need another hero」第 10 回ベルリン・ビエンナーレ (2018 年)、シャルジャ・ビエンナーレ 13 (2017 年)、第 56 回ヴェネチア・ビエンナーレ

(2015 年) などの国際展やグループ展に参加。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願いいたします。尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

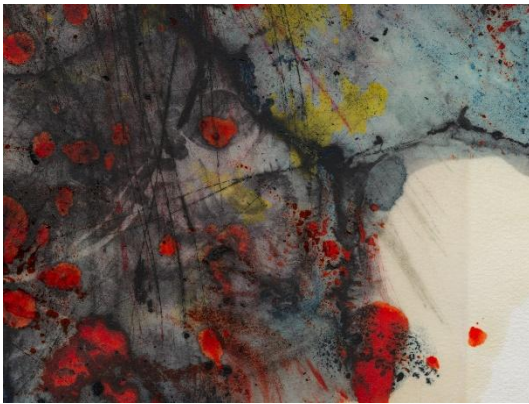
タカ・イシイギャラリー 京都 展覧会担当: 上松エリサ プレス担当: 野田舜土 (press@takaishiigallery.com)

Seiya Nakamura 2.24 Inc. 田邊 友里恵 (yurie@seyianakamura224.com)

〒600-8442 京都府京都市下京区矢田町 123 tel: +81 (0)75 366 5101 fax: +81 (0)75 366 5327

e-mail: tigkyoto@takaishiigallery.com website: www.takaishiigallery.com

営業時間: 木 - 土 10:00 - 17:30 定休日: 日 - 水・祝祭日



Oscar Murillo

“(untitled) anterior chamber”, 2024 (detail)

Oil on intaglio print

57 x 38 cm

© Oscar Murillo

Photo: Tim Bowditch and Reinis Lismanis